

15. 前ページ12～14の手順でポンベ側もカバーのボタンを留めながら中に収納します。(図16)

16. 全体にネジなどがいないか確認しながら、形を整えます。(図16)

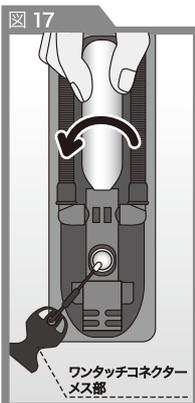
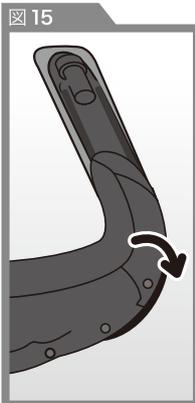
17. 未使用の適合サイズカートリッジポンベを取付けます(図17)
(*2ページの①-②参照)
未使用のカートリッジポンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。



カートリッジポンベのシールの指示方向に締めて取付けます

注意 ⚠️
カートリッジポンベのねじ込みが緩いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります

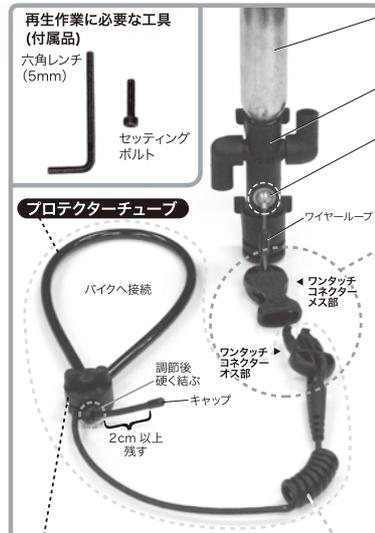
18. 《装着ウェア》の装着部(マジックテープ、ファスナー等)へ取付けます。(図18)
ワンタッチコネクターメス部をキーボックスカバー穴から外に出し、キーボックスカバーがあるものは閉めて下さい。(モデルによってカバーの仕様が異なります。カバーのないものがあります。)



※《装着ウェア》はモデルによって異なります。

完了

はじめに ヒットエアに装備されたアクセサリー



CO²カートリッジポンベ (P13参照)
キーボックスが作動するとポンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス(Y型) (P12参照)
YKKと共同開発した小型軽量型キーボックス

キーボール(Y型) (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース(コネクター) (P14参照)
乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。(YKKと共同開発したバックル型)



ループセッター (P15参照)
伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

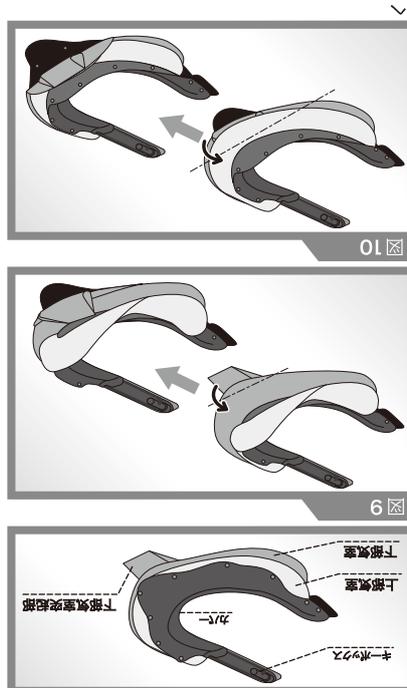
プロテクターチューブ (P15～16参照)
バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー
伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中を通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

23

9

- 注意** ⚠️
- 9. 首部にエアポンベが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンス)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。
 - 10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊り下げて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。
 - 11. 首部にエアポンベが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンス)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。
 - 12. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。
 - 13. エアポンベ(衝撃緩和と保護)の取り付けは、自己の責任において行って下さい。脱着をしないで下さい。
 - 14. 内蔵されたエアポンベ(衝撃緩和と保護)の取り付けは、自己の責任での使用は出来ません。
 - 15. エアポンベ(衝撃緩和と保護)の取り付けは、自己の責任で行って下さい。
 - 16. エアポンベに取付けられたエアポンベ(衝撃緩和と保護)の取り付けは、自己の責任で行って下さい。取り外し、修理、交換、部品交換して下さい。

注意 ⚠️
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



21 気室の収納作業

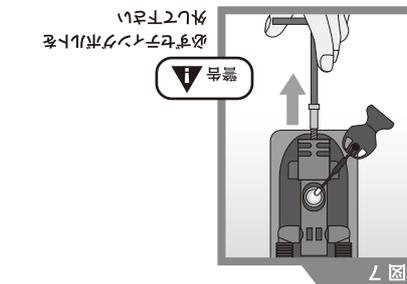
8. 上下気室からカバーが抜け、エアバッグの膨らみを確認します。(図8)

9. 下部気室の突起部を上内側にたたき込みます。(図9)

10. 上部気室と合わせて内側にたたき込みます。(図10)

11. 上下気室を重ねて入れ込み、状態を確認して下さい。重ねた状態で収納すると、正常に作動しない恐れがあります。

12. 重ねた状態で収納しないようにして下さい。



7. エアポンベを外します(図7)
キーボールがエアポンベから外れたら必ず六角レンチでエアポンベを外して下さい。
エアポンベは作動しなくなります。